

植物工場研究センター研究室での研究

研究代表者（所属）：大山 克己（大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科）

# 植物生産を環境に配慮して効率化するための取り組み例

○大山克己<sup>1</sup>

所属： 1 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

キーワード：環境、管理、軽労化、作業、ロボット

## 要 旨

大山研究室では、植物生産を環境に配慮して効率化するための一連の研究を実施している。具体例として、①小型電動ロボットを用いた醸造用ブドウ生産の軽労化、②生産管理支援システムを利用した作業管理の体系化・簡略化、③植物を利用した排水および海水の浄化、に関する研究があげられる。①では、醸造用ブドウ園に小型電動ロボットを導入することによる軽労化を目指している。②では、大規模施設における働くひとの管理の適正化を見込む。③では、植物を利用して、排水や海水を浄化し、きれいな水を精製する手法が確立されることを期待する。これら一連の研究により、植物生産を環境に配慮して効率化することを目指している。